

白川流域の安全を守るために 立野ダムより河川改修 を進めましょう！

STOP!
立野ダム
LOVE
阿蘇

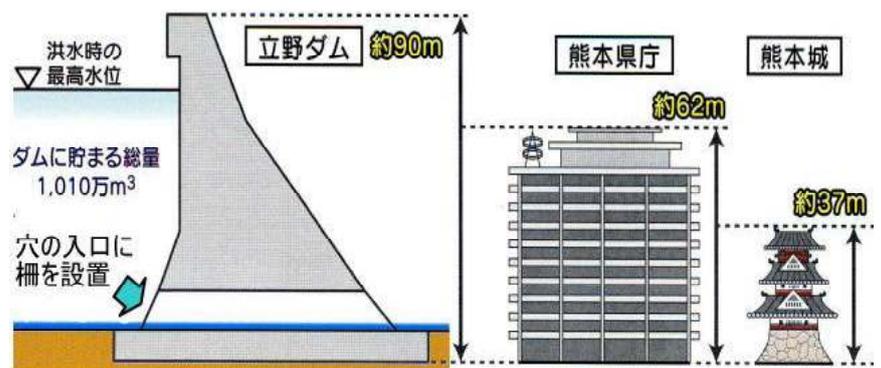


- 立野ダムは阿蘇外輪山の唯一の切れ目、白川・黒川合流点のすぐ下流に国土交通省が計画した、高さ約90mの洪水調節専用の穴あきダムです。
- 洪水時の白川の水は多くの火山灰を含みます。白川にダムを造っても、土砂や岩石、火山灰で早い段階で埋まってしまうことは明らかなです。

- 2012年7月豪雨で被害を受けたのは、河川改修が未完成の箇所ばかりです。危険な立野ダム建設より河川改修を進めるべきです。
- 立野ダムの洪水を貯める容量は、想定した洪水を調節する分しかありません。想定以上の洪水では立野ダム湖は満水になり、「洪水調節ダム」として機能しなくなります。
- 立野ダム下部の穴が岩石などで埋まらないように、穴の入口に柵（スクリーン）が設置されます。洪水時には大量の流木が穴の入口の柵をふさぎ、ダム湖は短時間で満水になります。満水になったとたん、ダムに流入する洪水がそのままダム上部から流れ落ち、下流の水位は一気に上がります。立野ダムは災害をひきおこします。



立野ダム建設予定地(立野峡谷)



立野ダムの高さ(国土交通省資料より)と、穴の入口の柵の位置

世界遺産登録をめざす阿蘇に 高さ90mのダムはいりません！

- 立野ダム建設予定地は、阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地区にあり、絶滅危惧種クマタカの生息も確認されています。天然記念物に国が指定している北向谷原始林も水没し、かれています。穴あきダムは大量の土砂をため込み、周辺の山林を荒します。洪水後もたまった土砂が流れ出し、長期間下流の白川を濁します。
- 立野ダムの総事業費の3割を熊本県が負担します。熊本県の負担額は約271億円です。県民1人あたり約15000円を立野ダムに負担することになるのです。
- ダム本体工事は大手ゼネコンしか受注できませんが、河川改修は地元の業者が受注でき、地域振興にもつながります。
- 立野ダム予定地周辺の地盤は、割れ目が非常に多い立野溶岩です。また、ダム予定地一帯には東西方向に断層が数多く集中しており、地震発生確率の高い活断層「布田川・日奈久断層帯」も通っています。ダムができれば地すべりや漏水の危険性があります。
- 阿蘇の草原を保全し、荒れた人工林を間伐し、流域の農地を守ることが、白川流域の災害対策や熊本の地下水の保全にもつながります。



割れ目だらけの立野ダム予定地の地盤

「立野ダムによらない自然と生活を守る会」のご案内



立野ダムは1983年の事業開始から30年近くがたつのですが、ダム本体工事にも仮排水トンネル工事にも着手されていません。私たちは白川流域の安全を守るために、危険な立野ダム建設にたよるのではなく、即効性のある河川改修などによる総合治水対策を求めています。白川は、全国でも珍しいダムのない一級河川です。熊本が世界に誇る阿蘇の大自然と白川の清流を自然のままの姿で未来に手渡すために、皆様方のご支援・ご参加をお願い致します。

(2012年10月9日更新)

■連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康 電話 090-2505-3880 <http://stopdam.aso3.org/>